



仁淀病院からのお知らせ



甲状腺のはなし

主任臨床検査技師 土居 祐子

甲状腺はどこにある？

甲状腺は首の下の方、ちょうど喉仏の下辺りにあり、蝶々のような形をしています。

甲状腺は何をしている？

甲状腺の役目は、脳の命令を受けて甲状腺ホルモンを作ることです。

このホルモンは身体の新陳代謝を進める働きがあります。

甲状腺の病気になると…

甲状腺ホルモンが多過ぎると、全身の代謝が高まって脈が速くなり、動悸を感じたり、ちょっと動いただけで汗が止まらなくなったり、手が震えたりします。逆に少な過ぎると、だるい、冷え性、便秘、頭がぼーっとするなどの症状につながります。

疲れが溜まっている？ 更年期障害？ と思うかもしれませんね。

甲状腺の検査

触診、超音波検査、血液検査などがあります。

血液検査では血液中の甲状腺ホルモンを測定します。

仁淀病院では新しい測定装置を導入し、甲状腺関連ホルモン(TSH: 甲状腺刺激ホルモン、FT3: 遊離トリヨードサイロニン、FT4: 遊離サイロキシン)を院内で測定できるようになりました。採血して約1時間で結果が分かります。

気になる症状のある方は医師にご相談ください。



(写真:免疫発光分析装置)

放射線科からのお知らせ

4月から女性の診療放射線技師が1名増員され、勤務しています。現在、MRI・CT・レントゲンの撮影などを3名体制で行っています。



水中運動教室(脱メタボコース)について

6月広報に、水中運動教室(脱メタボコース)についてご案内しましたが、その内容に一部誤りがありましたのでお詫びして訂正します。

○週1コース

実施期間 9月19日～12月5日(毎週水曜日 全12回)

(正)

実施時間 13:30～15:30(送迎バス:すこやかセンター伊野 12:45発予定)

(誤)

実施時間 10:00～12:00(送迎バス:すこやかセンター伊野 9:15発予定)